

いけんひろば
～「令和6年版^{ばん}こども白書」(やさしい版)を
つくる上で大切だと思ふこと～

ほうこくしりょう
報告資料

令和6年7月19日 (オンライン^{かいさい}開催)

令和6年7月20日 (対面開催)



かいさいがいよう
● **開催概要**

● **参加者の意見**

1. 「やさしい版^{ばん}こども白書」のコンセプト
2. 「やさしい版こども白書」の工夫、しかけ
3. 「やさしい版こども白書」のサンプルを見た感想
4. もっと詳しく知りたいこと・日ごろの関心ごと

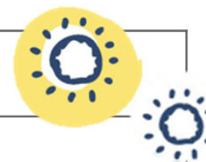
● **参加者アンケート**

● **参考**



開催概要

<p>テーマ</p>	<p>「令和6年版^{ばん}こども白書」(やさしい版)をつくる上で大切だと思ふこと</p>
<p>担当省庁 <small>たんとしやうちやう</small></p>	<p>こども家庭^{ちやう}庁</p>
<p>参加対象者 <small>たいしやうしや</small></p>	<p>ぷらすメンバーのうち、小学生～高校生^{さい}世代(令和6年度に18歳になる方まで)</p>
<p>テーマ説明</p>	<p>こども家庭庁では、例えば、小学生や中学生の方にも読んでもらえるような^{ないやう}内容やデザイン、ページ数などを工夫した「やさしい版こども白書」を作ること^をを予定しています。 この「やさしい版こども白書」を作成するために、みなさんからアイデアをいただきたいです。</p>



オンライン回

<p>開催日時</p>	<p>令和6年7月19日(金) 19:00～21:00</p>
<p>開催場所</p>	<p>Webex</p>
<p>参加人数/グループ数</p>	<p>○A班^{ばん}…小学生3名 ○B班…中学生2名、高校生1名 ○C班…高校生2名</p>



対面回

<p>開催日時</p>	<p>令和6年7月20日(土) 13:00～15:00</p>
<p>開催場所</p>	<p>PwCコンサルティング合同会社(東京都千代田区大手町)</p>
<p>参加人数/グループ数</p>	<p>○A班…小学生5名 ○B班…中学生3名、高校生1名 ○C班…高校生5名</p>



1.「やさしい版^{ほん}こども白書」のコンセプト

Q.「やさしい版こども白書」と聞いて、どういったものをイメージしますか？

内容^{ないよう}について

- 「**こどもがこんなことに困^{こま}っている**」ということが書いてある。(中学生～高校生)
- **少^{こうれい}子高年齢化**について書いてあると思った。(中学生～高校生)
- **政策^{せいさく}がずらーっと並^{なら}んでいるもの**。(高校生)


表現^{ひょうげん}について

- **小学校で習うような、くだけた表現**が使われているイメージだった。(小学生)
- **やさしい日本語(海外の人などでも分かりやすい日本語)**が使われているもの。(中学生～高校生)
- **難^{むずか}しそう**、知らない言葉が出てきそう。(中学生～高校生)

名前^{なまえ}について

- 「白書」という言葉自体、**あまりやさしい表現ではない**。(高校生)
- **もっと良いネーミングがある気がする**。(高校生)

その他

- 「やさしい」という言葉は「(人が) **優^{やさ}しい**」という言葉をイメージする。そのため、「やさしい版こども白書」は「『**こども白書**』という人が**優^{やさ}しい**」という意味かなと思う。(小学生)
- 「やさしい版」というから、**ほかにも違^{ちが}う「〇〇版」があるの**かなと思う。(小学生)

Q.政府が作った資料をみたことがありますか/どういうときに読んでみようと思いますか？

学校^{じゅぎょう}の授業や宿題・課題が出た時

- **学校の先生が「読んでみましょう」というとき**。「時間があるから政府の資料^{せいふ しりょう}を
読んでみよう」とは思わない。(小学生)
- **裁判所^{さいばんしょ}についてレポートを作成する機会**があり、最高裁判所の資料を使った。
(中学生～高校生)
- **夏休みの宿題で調べ学習を課された時**に、読んだことがある。(高校生)
- **弁論大会^{べんろん}で内容を考えるとき**に少し読んだ。(高校生)

ニュースで見かけた時

- **こども家庭庁^{ちよう}に関する大きなニュースが起きたら**、「こども白書」を読んでみるか
もしれない。(中学生～高校生)

困^{こま}っている時

- **自分が困^{こま}っている時**に手に取るかもしれない。例えば、いじめを受けている時など。
(中学生～高校生)

おすすめされた時

- **人にすすめられたとき**。例えば、大人に「これ面白いから読んでみなよ」と言われたら読むと思う。(小学生)

読もうと思わない

- 「こどもの意見が政策^{はんえい}に反映されるのかな？」と疑問に思い、こども家庭庁のことを調べてふらすメンバーに登録し、メールでお知らせを見てようやく資料を読んだ。そのため、**政府の資料にたどり着く人は少ない**と思う。(高校生)

1.「やさしい版^{ほん}こども白書」のコンセプト

Q.小学生や中学生が「やさしい版こども白書」を手にとるとしたら、どういった場面だと思いますか？

学校で取り扱う^{あつか}

- 学校でチラシを配られたら手にとると思う。(小学生)
- 教科書に載っていて、先生が「今日はこれを音読しましょう」と言ったら、手にとりて読む。(小学生)
- 「やさしい版こども白書」を広める映像を作り、全国の学校で映像を流したら効果率がいいと思う。(小学生)
- 各クラスに1冊置いてあれば誰かしらは読むと思う。読書の時間などに読む人もいそうである。(中学生～高校生)
- 生徒会室の周りに置くべきであると思う。児童会や生徒会のメンバーならば、より深く読んでもらえるかもしれない。そうすれば何かしら周りに良い影響が及ぶはず。少しずつ関心のある人から広げていくのが現実的だと思う。(中学生～高校生)
- 本当に困っている人に届けるために、保健室やカウンセリングルームに置くべきだと思う。より緊急的な支援に関する情報もあわせて届けられると良いと思う。(中学生～高校生)
- 自分が中学生の頃はなかったが、今の中学生は総合学習の中で自分の関心があるテーマについて調べて考えるという発展的なことをしていると聞いた。高校生がする「探求学習」のような活動もしているかもしれず、そういった場面で手にとるかもしれない。(高校生)

ポスターにする

- 街中に「やさしい版こども白書」を読もうというポスターがずらっと並んで、注目度が高かったらとても印象に残るので、手にとりたいと思う。(小学生)

メディアで見かける

- YouTubeやテレビなどみんなが見るもので取り上げたら良いと思う。(小学生)
- 解説動画チャンネルで取りあげるといいかもしれない。(小学生)
- 若者に多く知ってもらいたいのであれば、一番効果があるのはSNSだと思う。(中学生～高校生)
- 小学生でも見ているSNSなどに、リールのように検索しなくても勝手に流れてきたら見るかもしれない。(高校生)

その他

- 「こども若者★いけんぷらす」を習いごとにするのはいいかもしれない。(小学生)
- 「やさしい版こども白書」サンプルを見て、何か活動したいと思っている人は、「こども白書」を読むことで行動を起こすきっかけが生まれそうだった。ただ、行動するための材料として最初に「こども白書」を思いつくかと言われると、そうではない。(高校生)



2.「やさしい版^{ほん}こども白書」の工夫、しかけ

Q.「やさしい版こども白書」の中身にどんな工夫やしかけがあると良いと思いますか？

Q.「事前アンケートの結果」※を見て、付け加えたいことはありますか？

レイアウト

フォントについて

- ・「UDデジタル教科書体」のようなユニバーサルデザインのフォントを使うと良いと思う。プレゼンやレポートでもこのフォントを使用する。（中学生～高校生）

デザインについて

- ・事前アンケートの中に「イラストを色鮮やかにして欲しい」という意見があるが、**色鮮やかすぎると読みにくい**と思う。（中学生～高校生）
- ・修学旅行の事後学習でプレゼンをやった時、緑赤黄色青のように**多くの色を使いすぎると読みづらくなる**と感じた。（中学生～高校生）

マンガ形式にすることについて

- ・**読んでくれる人を増やすために4コマ漫画は効果的**だと思う。学校の配布物の中に「こどもの権利条約」のプリントがあり、その4コマ漫画が読みやすく「良かったな」と思った。（中学生～高校生）

若者に人気なコンテンツとコラボすることについて

- ・**クイズ系YouTubeチャンネルなどのYouTuberとコラボ**すると良いかもしれない。（高校生）
- ・最近、電車内で有名な日本の人気キャラクターがクイズを出題している動画が流れている。**キャラクターは不祥事も起こさない**のが良い点かと思う。（高校生）

参考になる資料について

- ・レイアウトに関しては、**社会科の教科書がすごく読みやすい**と思う。普段使っている教科書は文字の大きさが項目によって違ったり、インデックスがついていたり、アンダーラインがあったりする。（中学生～高校生）

その他

- ・「やさしい版こども白書」を開いたら、**本の中が立ち上がって立体になる**というしかけがあったら良いと思う。（小学生）

Q.「やさしい版こども白書」の中身にどんな工夫やしかけがあると良いと思いますか？

Q.「事前アンケートの結果」※を見て、付け加えたいことはありますか？

ないよう 内容



世代ごとの作成について

- 世代ごとに分けて作るのは良いアイデアだと思う。小学生が必要としている資料^{しりょう}と中学生、高校生が必要とする資料^{ちが}は違う。高校生なら知っているような内容でも小学生は知らないことがある。高校生向けのほうが内容^{むずか}は難しいが、分量は少なくなるイメージ。小学生向けには丁寧な説明^{ていねい}が必要だと思う。
(中学生～高校生)
- 小学生は調べ学習の機会が多いため、内容が多くても良いと思う。(中学生～高校生)
- 「世代ごとに分ける」という意見があるが、文面を分かりやすくすると情報^{じょうほう}が少なくなってしまう。例えば、小学校で配布^{はいふ}する場合、よりやさしい内容の資料を配布^{くわす}し、少し詳しく書いてあるものを据え置き版にすると良いと思う。(中学生～高校生)
- 簡単^{かんたん}すぎても、小学校高学年や中学生からすると嫌^{いや}だと思う。言葉遣いも学年ごと^{づか}に分けられるとよい。小学校3年生からは社会科の授業^{じゅぎょう}があり、社会への関心^{かんしん}が増え、話題も増えると思うので小学生を「低学年」「中学年」「高学年」で分けるのがよさそう。(高校生)



追加^ので載せるべきこと

- 対策^{たいさく}や解決方法^{かいけつ}が書いてあるが、自分たち^{自分たち}にできることを教えてほしい。(中学生～高校生)
- 豆知識^{ちしき}など、子どもたちが知りたいと思う情報^{情報}が入っていたほうが良いと思う。(中学生～高校生)
- 私は高校2年生の時、小中高生の自殺^{じさつ}の多さについて探求^{たんきゅう}していた。厚生労働省^{こうせい}や警視庁^{けいしちやう}が数値データ^{すうち}を公表^{こうひゃく}しているが、一部の項目^{こうもく}については自分で割合^{わりあい}計算^{けいさん}などをしなければならなかった。こども家庭庁が小中高生^{小中高生}について細分化^{さいぶんか}したデータ^{データ}を出してくれたら良いなと思った。(高校生)
- 不登校^{ふとうこう}者の数など、統計^{とうけい}的なデータは他のサイトでも見つけやすいが、実際に保護^{じっさい}者^{ほご}や子どもの思い^{おもい}を調査^{ちやうさ}したアンケート結果^{けいこ}などはなかなか見つけられないので、欲しい。探求^{たんきゅう}の授業^{じゅぎょう}でも、理想論^{りゆうろん}で終わってしまう。現実^{げんじつ}と照らし合わせて探求^{たんきゅう}をしたい。(高校生)

目次^のについて

- 簡単^{かんたん}な目次^{めいじ}がついていると良いのではないかな。一部分だけ読みたい人がいると思う。(中学生～高校生)
- インデックスとして「小学生はここ」や「中学生はここ」と入っていると、読みたいものがすぐに見つけられると思う。(中学生～高校生)

2.「やさしい版^{ほん}こども白書」の工夫、しかけ

Q.「やさしい版こども白書」の中身にどんな工夫やしかけがあると良いと思いますか？

Q.「事前アンケートの結果」※を見て、付け加えたいことはありますか？

アクセス

資料^{しりょう}の形式について

- 紙よりもデジタル版が良い。デジタル版であれば読みたいページにすぐ飛ぶことができる。デジタル版で目次があれば便利だと思う。(中学生～高校生)
- 紙だと探すのが大変だったり重かったりする。タブレットだと一台で済む。(中学生～高校生)
- 分割されたPDFファイルは見るのが面倒である。アナログ(紙)のほうにアクセスしやすくすることも含めて見やすくすると良いと思う。(中学生～高校生)
- 調べたいところだけ見たい時には、分割されているほうが便利なおもしろい。(中学生～高校生)
- PDFだとクリックをただでダウンロードが始まってしまうから、パソコンが重くなると思う人もおもしろい。けれど、PDFは引用元のリンクとして示しやすく。(高校生)

広報^{こうほう}や掲載^{けいさい}方法について

- 「以前こんなことを調べている人がいます」というような感じのボタンを入れて、そこから飛べるようにするなどしたらよいと思う。(中学生～高校生)
- こども家庭庁ホームページの中にいくつかページがあると思う。その一番上に「こども白書」を掲載しておけば、一目で分かる。(高校生)
- 例えば、厚生労働省のグラフを見たときに「こども白書でも、このデータを取り上げて分析しているよ」などと近く書いてあれば参照して活用できる。色々な省庁がお互いに協力できるとよい。(高校生)
- ミュージシャンが「こども白書」の曲の作成などをしたら知ってもらえるかもしれない。(高校生)
- 「こども白書」に何が載っているかを知っている人があまりいないと思う。先生が内容について知っていたら、生徒も知るきっかけが生まれそう。(高校生)

その他

- 最後まで読んだら何かもらえる。(小学生)
- 「こども家庭庁によって改善された点を過去と現在で比べることで、分かりやすく示されていて欲しい」に共感する。毎年発行されるものであるため、最初に「ここがこう変わりました」と書いてあると親切だと思う。(中学生～高校生)



3. 「やさしい版^{ばん}こども白書」のサンプルを見た感想

Q. 読みやすいと思えましたか？／書いてあることをどのくらい理解^{りかい}できましたか？／改善^{かいぜん}できそうな箇所^{かしょ}はありましたか？

青字：いいと思ったところ
赤字：改善できそうなところ

<サンプル①についての意見>

<2024年7月 こども若者★いけんぶらす用サンプル>
(令和6年版こども白書第2部第1章第2節部分)

いつの時期でも大切なこと

A **たくさん遊んで、
すくすく成長**

こどもがすくすく育ち、
ずっと幸せに生きていけるように、
国や地域、団体などが協力して、
活動や遊びの機会を
たっぷり用意するよ。



D その大切なことのために国が行っていること

遊びや体験活動のすすめ、生活習慣づくり

こどもが安全で質の高い体験を受けられる
「体験の機会の場」は、2024年3月末現在で
32か所が認定されています。国は、その認定を
受けた民間団体が、より良い体験を提供するた
めの研修を行っています。

「体験の機会の場」の
動画が見れます！



<このほかにしていること>

- ▶ 児童館における遊びのプログラム開発
- ▶ こどもが無料で鑑賞できる舞台芸術を支援
- ▶ 「早寝早起き朝ごはん」運動の良い例のすすめ

A 別の表現にできたらよいと思う。たとえば「成長できるよう大人がサポート」などと、サポートがあることが書いてあると印象に残ってよいと思う。(小学生)

B 「いつの時期でも大切なこと」は良いと思った。語尾が「するよ」なのも良いと思う。(中学生～高校生)

C こういった資料に使われるイラストには意図的に様々な人が入っている。「いつの時期でも大切なこと」に使われているイラストもグローバルな感じがして良いと思う。(中学生～高校生)

D 見出しについている電球マークについて、もっと良いアイコンはないのか。(中学生～高校生)

E 「児童館における遊びのプログラム開発」と書いてあるが、自分の住む地域では大きな児童施設が閉鎖されてから児童館の存在感が薄れており、児童館に関する追加の説明が必要だと思う。その他のほとんどの内容は小中学生でも理解できる内容だと感じた。(中学生～高校生)

「児童館における遊びのプログラム開発」とだけ言われてもイメージが湧かない。もうちょっと具体例が欲しい。(中学生～高校生)

F 「遊びや体験活動のすすめ、生活習慣づくり」のところにQRコードが入っているのが良い。(中学生～高校生)

3. 「やさしい版^{ばん}こども白書」のサンプルを見た感想

Q.読みやすいと思いませんか？／書いてあることをどのくらい理解^{りかい}できましたか？／改善^{かいぜん}できそうな箇所^{かしよ}はありましたか？

青字：いいと思ったところ

赤字：改善できそうなところ

<サンプル②>についての意見

💡 こどもまんなかまちづくり

こどもや子育て中の人^{かいてき}が安心・快適に日常生活を送れるようにするため、こどもの居場所や保護者同士が交流しやすい場所、バリアフリー施設などの環境づくりをする「こどもまんなかまちづくり事業」「こどもまんなか公園づくり支援事業」をつくりました。

A

<このほかに行っていること>

- ▶国、河川管理者、市町村、企業などが協力して「かわまちづくり」(河川に近づきやすい環境整備など)
- ▶公的賃貸住宅と子育て支援施設などの一体的整備への支援

B

💡 こども・若者が活躍できる機会づくり

青年国際交流事業

次世代グローバルリーダーを育成するため、航空機や船での多国間交流を行う事業を行っています。2023年度は、新型コロナウイルス感染症流行が落ち着き、4年ぶりに韓国や東南アジアなどと対面での交流を再開しました。



C

アントレプレナーシップ教育(起業家教育)のすすめ

こども・若者が自ら社会課題を見つけ、課題解決に向かってチャレンジしたり、解決策を考えたりすることができる知識・能力・態度を身に付けられるよう、大学生を対象とした全国プログラムの開催、小中学生や高校生を対象としたプログラムの開発などを行っています。

💡 こども・若者の可能性を広げていくためのジェンダーギャップの解消

学校教育において、男女の役割の決めつけや思いこみをなくしていくための教材を作成しました。

また、こども・若者の発達段階に応じて多様性の理解を育む取組をしたり、性的マイノリティのこども・若者へきめ細やかな対応ができるよう、先生向けの啓発資料を作成しました。



A

- 「こどもまんなかまちづくり」について、具体的に何をしているのか知りたい。特に伝えたい内容をQ&A形式で載せると良いかもしれない。(高校生)

B

- 「このほかに行っていること」や「青年国際交流事業」の枠の四隅が丸いのは良いと思う。(中学生～高校生)
- 「こどもまんなかまちづくり」の「このほかに行っていること」が分かりにくい。単に「支援」と言われても何をしているのかが分からない。(中学生～高校生)

C

- 「青年国際交流事業」の横にある「ひらけ、世界」という写真が内容に関係あるのかが分からなかった。(小学生)
- 「青年国際交流事業」について、ポスターの写真があるのが良い。ポスターがあるのとないのでは全然違う。ポスターがあると分かりやすく、イメージが湧いてワクワクする。(中学生～高校生)
- 「青年国際交流事業」についても、目的や具体的な内容が書かれていない。(中学生～高校生)



3. 「やさしい版^{ばん}こども白書」のサンプルを見た感想

Q. 読みやすいと思いましたか？／書いてあることをどのくらい理解^{りかい}できましたか？／改善^{かいぜん}できそうな箇所^{かしよ}はありましたか？

青字：いいと思ったところ
赤字：改善できそうなところ

<サンプル②についての意見>

💡 こどもまんなかまちづくり

こどもや子育て中の人^{かいてき}が安心・快適^{かいてき}に日常生活を送れるようにするため、こどもの居場所^{いばしょ}や保護者^{ほごしや}同士が交流^{かうしゆ}しやすい場所、バリアフリー施設^{しせつ}などの環境^{かんげい}づくりをする「こどもまんなかまちづくり事業」^{きぎょう}「こどもまんなか公園^{こうえん}づくり支援事業^{しえん}」をつくりました。

<このほかにやっていること>

- ▶ 国、河川^{かせん}管理者、市町村、企業^{きぎょう}などが協力して「か^かまちづくり」(河川^{かせん}に近づきやすい環境整備^{かんげいせいび}など)
- ▶ 公的^{こうてき}賃貸住宅^{ちやうたいじゆうたく}と子育て支援^{しえんし}施設^{しせつ}などの一体的整備^{いつてきせいび}への支援

💡 こども・若者が活躍^{わかものかつやく}できる機会^{きかい}づくり

青年国際交流事業^{こくさい}

次世代^{じせだい}グローバルリーダーを育成^{いくせい}するため、航空機^{こうくうき}や船^{ふね}での多国間^{たこくかん}交流^{かうしゆ}を行う事業^{きぎょう}を行っています。2023年度^{ねんど}は、新型コロナウイルス^{しんしんしやう}感染症^{かんこく}流行^{へいこう}が落ち着き、4年ぶり^{しよんぶり}に韓国^{かんこく}や東南アジア^{とうなんあじあ}などと対面^{たいめん}での交流^{かうしゆ}を再開^{さいかい}しました。



アントレプレナーシップ教育^{アントレプレナーシップ} (起業家^{きぎやか}教育) のすすめ

こども・若者^{わかものみずか}が自ら社会^{かいけつ}課題^{かいてき}を見つけ、課題^{かいてき}解決^{かいけつ}に向かってチャレンジ^{ちやんじ}したり、解決^{かいけつ}策^{さく}を考えたりすることができる知識^{ちしき}・能力^{のうりよく}・態度^{たいど}を身に付けられるよう、大学生^{たいしやう}を対象^{たいしょう}とした全国^{ぜんこく}プログラムの開催^{かいさい}、小中学生^{せうじゆうせい}や高校生^{こうせい}を対象^{たいしょう}としたプログラムの開発^{かいはい}などを行っています。

A

💡 こども・若者の可能性^{わかものかのうせい}を広げていくためのジェンダーギャップ^{かいらいしやう}の解消

学校教育^{がくこく}において、男女^{やくわり}の役割^{やくわい}の決めつけや思いこみをなくしていくための教材^{かいてき}を作成^{さくせい}しました。

また、こども・若者^{わかものみずか}の発達^{だんかいはい}段階^{おほ}に応じて多様^{たさむ}性の理解^{せいりかい}を育む取組^{せいとくぐみ}をしたり、性的^{せいせい}マイノリティ^{まいのりてい}のこども・若者^{わかものみずか}へきめ細やかな対応^{たいおう}ができるよう、先生^{せんせい}向けの啓発^{けいはつ}資料^{しりょう}を作成^{さくせい}しました。

C



B

「おんなのこ/おこのこなんだからOOしない、OOしてはいけない」といわれたことはありますか？

A

- 「プログラムの開発^{かいはい}などを行っています。」と記載^{きざい}されているが、**どんなプログラム^{すかい}なのか**が分からない。**図解^{ひやうげん}するなど、文字^く以外の表現^{ひょうげん}を駆使^{くし}して**いくことが必要^{ひつやう}かと思う。(高校生)
- 「韓国^{かんこく}や東南^{とうなん}アジア」と書かれていても、**どれくらい遠い^{とほ}のかのイメージ^いは湧^わきづらい**かもしれない。**飛行機^{ひやうき}でどのくらい時間^{じかん}がかかるのか**記載^{きざい}したり、**地図^{ちず}を掲載^{けいさい}したり**すると良いかもしれない。(高校生)



B

- 「ジェンダーギャップ」などの**難しい言葉^{むずか}**を本文^{ぶんぶん}で使う^{しつもん}くらいであれば、**イラスト^{いらすと}内の質問文^{しつもん}を本文^{ぶんぶん}に入れたほうが良い**のではないかと。(中学生～高校生)
- **考えている姿^{すがた}をイラストにする必要^{ひつやう}はない**と思う。伝えたいこと = 問の答え^{こたへ}(～と言われたことがあっても、そんなことで悩む必要^{なや}はありません) というものを大きく出してはどうか。(中学生～高校生)
- イラストに絵^えがあるが、そこに結局^{けつご}文字^{もじ}も入っている。**絵柄^{えがら}も他のイラスト^{いらすと}と異なる^{こと}**のが気になる。(中学生～高校生)

C

- 「作成^{さくせい}しました」と使われてるのが気になる。最初のほうは「**つくりました**」だった。**「つくりました」に統一^{とういつ}したほうが良い**と思う。(中学生～高校生)
- **啓発^{けいはつ}資料^{しりょう}のQRコード^{けいはつしりょう}を掲載^{けいさい}すれば**、知りたい人はもっと知ることができる。(中学生～高校生)



3. 「やさしい版^{ばん}こども白書」のサンプルを見た感想

Q. 読みやすいと思えましたか？ / 書いてあることをどのくらい理解^{りかい}できましたか？ / 改善^{かいぜん}できそうな箇所^{かしょ}はありましたか？

青字：いいと思ったところ

赤字：改善できそうなところ

<全体についての意見>

見たい目

文字について

- 大切なところは大きい字で書かれているのが見やすい。(小学生)
- 色々な種類の文字(太さ、色)が使われている意味が分からなかった。(小学生)
- 小見出しに下線が引いてあるが、長い資料だと少々読みづらくなると思う。(中学生～高校生)
- フォントをもう少し派手^{はで}にしても良いかもしれない。(高校生)

絵や写真について

- もう少し画像^{がぞう}があった方がいと思う。(小学生)
- 画像を全体的にもう少し大きくできれば良いと思う。(中学生～高校生)
- 小学生は1ページ目を読んで「こういう感じなんだ」と思って、そこで読むのをやめると思う。小学生はイラストやポスターが入っていたりすると読むと思う。(中学生～高校生)

ボリュームについて

- 実際は50ページくらいあるとのことだが、分量が多いと思う。(小学生)
- 高校生くらいであれば読めると思う。しかし、小中学生にとっては文字の量が多いと思う。(中学生～高校生)

印象

- 「こども白書」は国会に提出することも考慮して書かれているので、なかなかイメージがわきづらい。(小学生)
- 小学生が読むには少し難しい可能性があると思う。(中学生～高校生)
- 全体的に文章が堅くて教科書みたいだと思った。(中学生～高校生)
- こういった新聞のような文章を読むのは苦手である。(中学生～高校生)
- 誰にでも読めるようになっている。(高校生)
- いかにも「報告書」という印象を受けた。(高校生)

レイアウトについて

- 1ページあたりの情報が多いと感じる。ページ数は多くなるかもしれないが、1ページにつき1テーマにした方が良い。(高校生)
- 「こども白書」を部や章ごとに分ければ、1つあたりのページ数も多くなりすぎない。(高校生)
- ページのレイアウトは統一し、最後に「この章のまとめ」を設けると読みやすい。(高校生)
- 電子媒体でスクロールして読むことを想定したレイアウトにできると良い。(高校生)

3. 「やさしい版^{ばん}こども白書」のサンプルを見た感想

Q. 読みやすいと思いましたが？ / 書いてあることをどのくらい理解^{りかい}できましたか？ / 改善^{かいぜん}できそうな箇所^{かしよ}はありましたか？

青字：いいと思ったところ

赤字：改善できそうなところ

<全体についての意見>

ないよう 内容

ひょうげん 表現について

- **ふりがながついていない**ところは読みづらい。(小学生)
- 小学校低学年・中学年・高学年、中学生、高校生のいずれに提供^{ていきよう}されるのかによって**表現の仕方が変わる**と思う。(小学生)
- 内容を**4コマ漫画^{まんが}**にしたら読んでもらえると思う。(小学生)
- 「**～しました**」という語尾^{ごび}は**堅苦しい**ため、読みたくなるのではないか。極端^{きょくたん}だが「～したよ」くらいでも良いかもしれない。(中学生～高校生)
- **ギャグを入れる**など、もっと読みやすくして欲しい。(中学生～高校生)
- 今は、**淡々と実施した内容が記載**されているが、**会話形式に変更して、読者が質問^{しつもん}しているような気持ちになれる**と読みやすいかもしれない。(高校生)
- **多彩なキャラクターが内容を説明^{たさい}**していたら面白いと思う。「このページにはこのキャラクターがいるけど、あのキャラクターはいつ登場するのかな？」などと思ってページをめくってくれるかもしれない。(高校生)

具体的な説明について

- **詳しい**ことを書かない方法には、良いところもあるし悪いところもある。興味がない人は流し読みができるし、細かく知りたい人は自分で調べることができる。(中学生～高校生)
- 小中学生は好奇心旺盛^{こうきしん おうせい}だと思うので、「**なぜ**」というところは**大切**にしたほうが良いと思う。(中学生～高校生)
- 難しくならないように具体的な記載を省略^{しょうりやく}した結果、抽象的な記載のみが残っているので、結局**こどものために何をしてくれるのかが分からない**。**具体的に自分たちの周りにどんな変化があるのかが分からない**。(高校生)
- **自分が関心を持った時に行動を移せる**ような内容にしてほしい。例えば「運動の良い例」の「例」をチェックリストにして読者が使えるようにすることなどが考えられる。(高校生)
- **ページごとに、具体的な社会参加機会(イベントなど)のURL**があると、実際に行動に移しやすくなると思う。(高校生)
- 中学生の頃、授業で調べものをする時は、**具体例や数値的なデータ**を調べて根拠^{こんきよ}を探していた。分かりやすい数値などを載せてくれたら嬉しい。(高校生)



3. 「やさしい版^{ばん}こども白書」のサンプルを見た感想

Q. 読みやすいと思えましたか？ / 書いてあることをどのくらい理解^{りかい}できましたか？ / 改善^{かいぜん}できそうな箇所^{かしよ}はありましたか？

青字：いいと思ったところ

赤字：改善できそうなところ

<全体についての意見>

アクセス

資料^{しりょう}の形式^{けいしき}について

- 紙だと分かりにくく、DVDや動画で見せることができれば良いと思う。(中学生～高校生)
- 全ページでやるのは難しいかもしれないけれど、一部にだけでも文字を読み上げる機能^{きのう}があれば、誰にでも読める資料になると思った。(高校生)
- 小学校5～6年のときに、SOSダイヤルのカードが配られた。小学生はそういうカードを集めるのが好きなことが多いので、こども白書を小さいカードにして毎月違う内容^{ちが}にして配ると、全て集めたいと思ってもらえるかもしれない。(高校生)
- かるたやすごろくにするのも良いかもしれない。(高校生)



広報^{こうほう}や掲載^{けいさい}方法^{かた}について

- 「こども白書」に付属する説明資料のようなものにも、「『こども白書』はこどもたちの意見を聴いて作成されているものです」と書いておいたほうが読む人から信頼されると思う。(中学生～高校生)
- 紙媒体だと読まない人もいるので、月に1回程度、学校の朝の時間で、アニメなどを起用した動画を見るようにできると良いかもしれない。(高校生)
- 「こども白書」を使って学校でワークショップ的なものができたら良いと思う。例えば「自分の身の回りの児童館を調べてみよう!」とか。(高校生)
- 学校で配られている子育て補助に関するお知らせなどと一緒に「こども白書」を配ると良いかもしれない。(高校生)
- 「経済的な事情で高校に行けない子が補助を受けるには…」など、一人ひとりの状況にあったリンクが掲載されていると良いと思う。(高校生)

Q. 難しい言葉はありましたか？

- 「アントレプレナーシップ教育」に「起業家教育」という説明がついていても分からない。(小学生)
- 「研修」という言葉も教科書に載っていないので、難しいと思う。(小学生)
- 「ジェンダー」は聞いたことはあるが「ジェンダーギャップ」は聞いたことがない。(中学生～高校生)
- 「『次世代グローバルリーダー』ってなんだ?」と思った。(中学生～高校生)
- 「バリアフリー」が分からない人がいるのではないかと。(中学生～高校生)
- 「性的マイノリティ」は聞いたことはあるが、意味は知らない。(中学生～高校生)
- 「啓発」という言葉は難しい。(中学生～高校生)



4. もっと詳しく知りたいこと・日ごろの関心ごと

Q. 白書※の内容の中で、もっと詳しく知りたいと思ったり、興味を持ったこと（分かりやすく説明してほしいと思ったこと）は何ですか？

・【特集①】『**こども大綱**』について、どのような内容なのかが気になる。（小学生）

・【注目事例⑤】**はじめの100か月の育ちビジョン**は親世代向けだと感じ、対象世代が混在している印象がある。（中学生～高校生）

・【注目事例⑦】**1人1台端末等を活用したこどもの相談支援**に関心がある。こども家庭庁が出している「こどもの自殺対策緊急強化プラン」にも同じことが書いてあったが、端末を活用した相談支援の有効性が分からなかった。（高校生）



・【注目事例⑧】**学校外からのアプローチによるいじめ防止対策**に興味がある。（中学生～高校生）

・【注目事例⑨】**ヤングケアラー支援**について知りたいと思った。政府が考えた対策は難しいので学生が考えた対策も書いてあったほうが「みんなこういうこと考えているんだ」と思える。（中学生～高校生）

・**こども若者★いけんぱらす**も知名度が低いと思うので、分かりやすい説明が必要だと考える。（中学生～高校生）

※「こども白書」の構成はP.20をご覧ください

Q. 白書の内容に限らず、日ごろ詳しく知りたいと思ってることは何ですか？

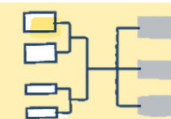
・バラエティ番組のロケコーナーなどの中で、コラムとして**自分が知らないことが紹介されたら調べたくなる**。（小学生）

・**自分が困っていること**に興味があるのだと思う。不登校の人なら不登校の話題など。【注目事例⑧】にも関係するが、いじめやヤングケアラーについて国が知っているのかどうか被害者・当事者は興味があると思う。（中学生～高校生）

・中学3年生なので**高校**に興味がある。自分の人生・進路に関する情報があると嬉しいと思う。高校を中退した時に高校が何か手助けをしてくれるのか、通信制の高校に転校できるのか、レールから外れてしまった人たちが国は把握・支援しているのか。そういった内容が載っていれば、すぐためになる。（中学生～高校生）

・**乳幼児**に関心がある。今は核家族化が進み、共働きも多く、親子の時間が少ないと思う。今までは少なくなった親子の時間を増やさなきゃと思っていたが、今は少ない時間の質をどう高められるかに関心がある。また、こどもの居場所としてよく相談所などが挙げられるが、私は家庭や家族がこどもの居場所になると良いなと思っており、そのためどうすれば良いかを考えている。（高校生）

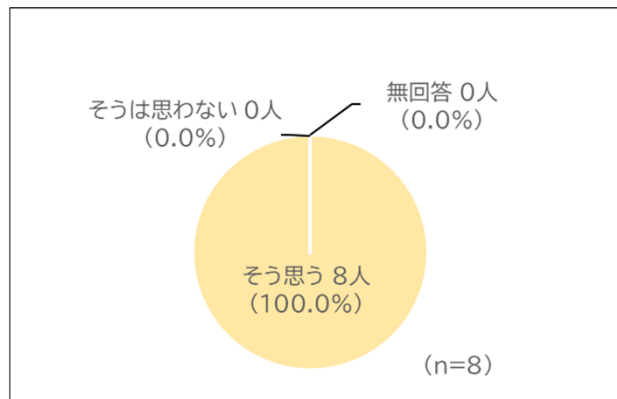
・**こどもは様々な分野に興味を持っている**から、共通項を見出すのは難しいと思う。（高校生）



参加者アンケート（オンライン）

（一部を抜粋して掲載）

「いけんひろば」に参加してよかったと思いますか？



「そう思う」の理由（自由回答）

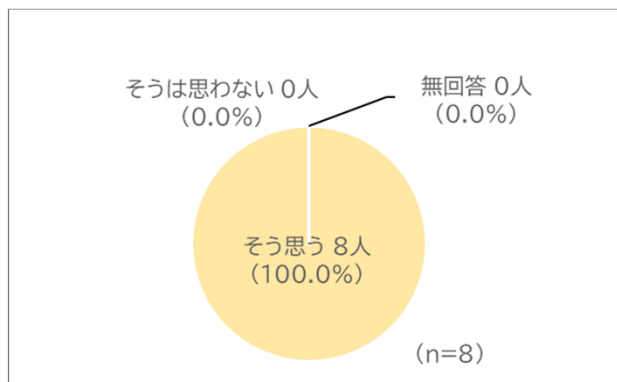
自分の意見を言うのも人の意見を聞くのも楽しかった。また、普段自分の意見を話すことがないので良い機会になりました。

自分の意見を聞いてもらえたから。

自分で子ども施策に意見を言えて、自分の意見が実際に反映されると思うと嬉しいから。

いろいろな交流ができてよかった。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと（自由回答）

チャットで、話したけれど話が伝わって良かった

自分の言いたい内容をその場で上手く伝えるように言うのが難しいと感じたから。



そのほか、今日の「いけんひろば」について、気づいたことや感想を教えてください。

子ども白書がもっと身近なものになり、私たちが今日話した意見が政策に反映されるととても嬉しい。

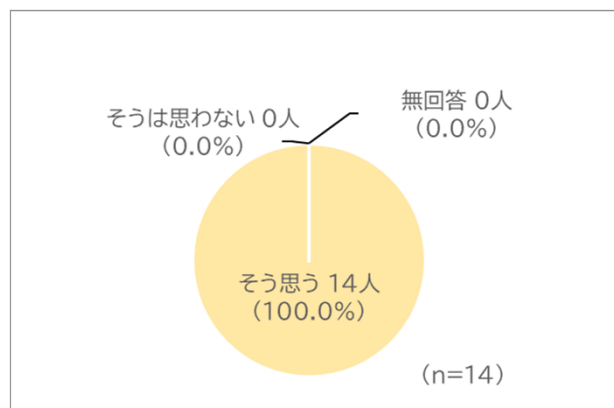
時間はあっという間でしたがとても密な時間になりました。

いけんひろばに参加して、自分たちが国の施策に関わることの大切さがわかったと思います。

参加者アンケート（対面）

（一部を抜粋して掲載）

「いけんひろば」に参加してよかったと思いますか？



「そう思う」の理由（自由回答）

いろいろな地域のひとと意見を話せた。「こども白書」についてたくさん知れた。

話し合いがたのしかった！

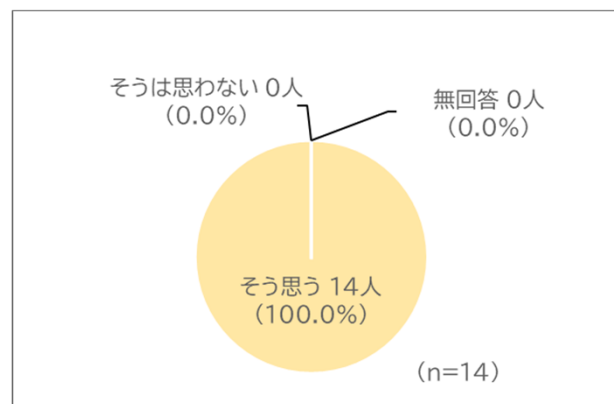
子どもとは無縁そうな政府が身近に感じられた。

色々な視点で物を見ることができて、とてもためになったと思う。

いろいろな事がしれたりしたから

たのしかったりわらったから。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと（自由回答）

雰囲気もうらぶだったので、かしまらなかった。

小、中学生向けって言っても参考資料が少なすぎた感じがします。

ありません！！



そのほか、今日の「いけんひろば」について、気づいたことや感想を教えてください。

班の人全員に発表の機会を与えてくれるところが助けになった

もう少しはなしたかったというのが本音ではある。

じぶんが思ったことをゆえてよかった。

色々な雑談してくれた！！

会場が少し暑かった。

(参考) 事前アンケートの結果①

「こども白書」を手にとってもらうための工夫に関する意見①

Q5. 「こども白書」をこども・若者をはじめ多くの方に手にとってもらうためには、どのようにデザインを工夫したら良いか、あなたが考える工夫点を教えてください。回答にあたっては、過去の「子供・若者白書」※10 や「少子化社会対策白書」※11を参考に、具体的にどうしたら良いか教えてください。

レイアウト

★イラストや図・写真を多く載せる

- イラストや写真を増やして見たい気持ちを高めてほしい
- 写真やイラストを多くすることで、堅苦しい資料というような印象をなくす
- ポンチ絵はかなりわかりにくいのでデザイナーを入れるなどして視覚的に分かりやすくしたほうが良い
- 可愛いイラストを使う
- 表紙や文章の部分にイラストを加えて柔らかい印象にした方が良い
- 表紙は目にする人が誰でも柔らかい印象をもてるよう、実際の支援現場の写真やこども若者の描いた絵を添付(てんが)する
- ものすごく文字が小さく、スマートフォンでは見にくい。印刷をして読む人の方が少ないと思うので、字の間隔(かんかく)を広げたりイラストを増やしたりして、気軽に見られるようにする

★文字の量を減らす、フォントを工夫する

- 文章を長すぎず簡単な言葉にすると、文字や情報の密度が低くなり見やすくなると思う
- 図の中の文字数を少なくする
- 文字を少なくして、要点をイラストやアイコンとともに書く
- 項目をさらに大きくまとめ、目次の分量を減らす
- 文字のフォントを変えるなどして重要な部分をより目立たせたり、色を変えて印象を受けやすいようにする
- フォントの種類/サイズを出来るだけ統一する
- UDフォントを使う

★デザインを変える

- イラストを色鮮(いろあざ)やかにしてほしい
- 目に優しい色合いにする
- こども家庭庁のイメージカラーであるオレンジを基調(きちょう)にする
- 調べ学習用の児童書のようなデザインにする

★マンガやアニメにする

- マンガやアニメでこども家庭庁が重点的に取り組んでいる政策(せいさく)をわかりやすく解説するコーナーを作ってみる
- 通信教育講座の広告のような軽い絵タッチで漫画形式(まんがけいしき)だと読みやすい

★若者に人気なコンテンツとコラボする

- 若者に人気なアーティストや芸能人を表紙にする
- こどもに人気なキャラクターや若者の間ではやっている人を採用(さいよう)する
- 人気のアニメや漫画(まんが)のキャラなどを使う



※10 内閣府「子供・若者白書」: <https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12927443/www8.cao.go.jp/youth/suisin/hakusho.html>

※11 内閣府「少子化社会対策白書」: <https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12772297/www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/index.html>

(参考) 事前アンケートの結果②

「こども白書」を手にとってもらうための工夫に関する意見②

Q5. 「こども白書」をこども・若者をはじめ多くの方に手にとってもらうためには、どのようにデザインを工夫したら良いか、あなたが考える工夫点を教えてください。回答にあたっては、過去の「子供・若者白書」や「少子化社会対策白書」を参考に、具体的にどうしたら良いか教えてください。

内容について

★表現をやさしくする

- やさしい日本語で書く
- 難しい言葉や専門用語を多用するのではなく、誰にでもわかりやすいように言い換(か)える
- 難しい漢字で読めない単語があった(専門用語など)ので、フリガナを振(ふ)ったり、こめじるし(※)をつけて用語解説などを付け加えたりする
- 会話形式のコラムをつくる

★世代ごとに作成する

- 年代ごとに(小学生以下向け、中高生向けなど)分けて作る
- 様々な年代の人に対応できるように、言葉の使い方や漢字、ひらがなの使い分けをしたいくつかのバージョンを作った方が良い
- ひらがなや読み仮名をつけたり、簡単な言葉で作ったこども専用のわかりやすいページを付ける

★概要版(がいようばん)を工夫する

- 全体像を一目で把握(はあく)できるような画像を一番最初に用意する
- 重要度の高い情報や図表でまとまりを持たせた要約資料を最初に追加する
- 正式なものとは別に、一般(いっばん)向けの簡易版を作成する。簡易版では可能な限り文字を減らし、イラストやイメージ図を多く使うことでわかりやすさに重点を置く
- AIで要約したり、まとめたりできたらいい

アクセスについて

★ファイルの載せ方について

- PDF形式なのでわざわざダウンロードして端末の容量を使ってドキュメントを見るのが面倒
- たくさんの項目とPDFリンクがあって、どこをみたらいいのか迷ってしまう
- 全体版は分割したPDFファイルしか掲載(けいさい)されていないので、すべて統合されたファイルも掲載(けいさい)してほしい

★広報(こうほう)や掲載(けいさい)方法を工夫する

- いろんな公共施設に設置する
- こども家庭庁HPで見られるようにする
- 各種SNSでトピックなどで小分けにして発信する
- 音声読みあげ機能もつけて、QRコードから関連サイトにアクセスできる様にして欲しい



その他

- こどもからの意見の手書きを載(の)せる
- こども家庭庁によって改善された点を過去と現在で比べることで、分かりやすく示されていて欲しい
- ターゲットは誰かを明示したり、読んだ方が良い理由やメリットを提示したりする

(参考) こども白書の構成

第1部 我が国におけるこどもをめぐる状況

第1章 こども・若者を取り巻く状況

第2章 こども施策の総合的な推進(すいしん)

【特集①】「こども大綱(たいこう)」

【特集②】次元の異(こと)なる少子化対策について

【特集③】日本のこども・若者の意識の現状～「我が国と諸外国(しょがいこく)のこどもと若者の意識に関する調査」から見えてくるもの～

第2部 政府が講(こう)じたこども施策の実施状況

第1章 ライフステージを通じた重要事項

(「はじめの100か月の育ちビジョン」、こどもの貧困(ひんこん)対策、こども家庭センターの整備、こども・若者の自殺対策 等)

【注目事例①】貧困の解消・貧困の連鎖(れんさ)の防止に向けた学習支援

【注目事例②】令和4年改正児童福祉法

【注目事例③】こどもの自殺対策～「長野県子どもの自殺危機対応チーム」の取組～

【注目事例④】能登半島地震(のとはんとうじしん)で被災したこどもの居場所づくり(NPO法人「日本教育再興連盟(にほんきょういくさいこうれんめい)」、能登高校魅力化(のとうこうこうみりよくか)プロジェクトからの寄稿(きこう))

第2章 ライフステージ別の重要事項

(切れ目ない保健・医療(いりょう)の確保、質の高い公教育(こうきょういく)の再生等、居場所づくり、いじめ防止対策、高等教育の修学支援(しゅうがくしえん)、就労支援(しゅうろうしえん)、結婚支援(けっこんしえん) 等)

【注目事例⑤】「はじめの100か月の育ちビジョン」

【注目事例⑥】「こどもの居場所づくりに関する指針(ししん)」

【注目事例⑦】1人1台端末(たんまつ)等を活用したこどもの相談支援(そうだんしえん)

【注目事例⑧】学校外からのアプローチによるいじめ防止対策

【注目事例⑨】ヤングケアラー支援

第3章 子育て当事者への支援に関する重要事項

(子育てや教育に関する経済的負担(けいざいてきふたん)の軽減、地域(ちいき)子ども・子育て支援事業の推進(すいしん)、共働き・共育ての推進(すいしん)、ひとり親家庭への支援 等)

【注目事例⑩】こどもまんなかアクション～こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革(いしきかいかく)～

第4章 こども施策を推進(すいしん)するために必要な事項

(「こども若者★いけんぶらす」の実施、こども・若者等に関わる人材の確保・育成・支援、「こどもまんなかアクション」の推進(すいしん) 等)

【注目事例⑪】こども・若者の意見の政策(せいさく)反映(はんえい)～「こども若者★いけんぶらす」の開始～

【注目事例⑫】「新型コロナウイルス感染症流行(かんせんしょうりゅうこう)による親子の生活と健康への影響(えいきょう)に関する実態調査(じつたいちょうさ)」(国立研究開発法人国立成育医療研究センターからの寄稿)